

空き家を活用したまちづくり ～次代のまちづくりプロジェクトチーム 2018・2019 活動報告～

不確実性の時代に対応した OODA サイクル[※]のまちづくり

◆テーマ選定

全国的に空き家が問題となっている。
 まだ住める空き家も放置すれば危険空き家となる。
 一朝一夕で解決できないため、早急に着手する必要がある

処分費の高騰
 →財政を圧迫

○他市町村の取り組み

※先進事例 リノベーションまちづくり(和歌山市)



商店街の真ん中で講演



歩行者天国を芝生で

Observe
みる

◆空き家を活用したまちづくり

地域課題
(空き家問題)

エリアを絞って
空き家調査



地元へ
ダイブ!

イベント等の
実施

エリアの魅力が
伝わる

エリアに人が
集まる

店舗の出店
(空き家を活用)

エリアの活性化
(空き家の減少)

町内の各エリア
で実施

町の活性化!!

住んでみたい!
起業してみたい!
働いてみたい!

Orient
わかる

◆取組

2グループに分かれて検討
 グループ A→イベントの検討 — ・めだかカフェ ・1日バザー
 ・ボルダリング ・まちづくりサロン
 グループ B→枠組み作りの検討
 ↳エリア選定—「妙寺」…(魅力)大和街道
 ポテンシャルマップの作成
 ○実際に空き家を借りてイベントを実施する(予定)
 ↳×「空き家」がない? ○信用がない

※役場職員だけでは限界がある!!

観光アドバイザー
森川氏と協議

伊都 JC と協議

みんなの妙寺大解剖

区長と協議

産観と協議

圧倒的当事者意識

妙寺地区の人々との
信頼関係の構築

ACT
うごく

◆地域選定

○妙寺地区(妙寺駅周辺・大和街道沿線)

ポテンシャルマップの作成



- ・以前にオープンストリートマップ関連のイベントを通して、町外の人々からも高い評価を得ている
- ・新しい店舗(Orange、雫)が出来ている(兆しの発見)
- ・実際に周辺を歩いて潜在的な価値を見出す

Decide
きめる

◆今後の展望

○まちプロが目指すもの 「空き家を活用」→「地域の活性化」

※OODA サイクルとは、アメリカの軍事戦略家であるジョン・ボイド氏が考案した、先の読めない状況で成果を出すための意思決定方法です。